

地域と幼稚園と保護者が手を取り合って ～トライアングル大作戦～

愛荘町	活動名： 愛荘町地域学校協働本部	秦荘幼稚園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和5年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：51人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他（ ）

- 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）
 運営協議会として、どんな子どもを育てたいのか、じっくりと話し合い目標を共有して、子ども達の心と体の安全を守ることを第一に活動を推進していく。



【 田植え体験 】

- 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

○田植え、稲刈り体験

5月に田植え体験、9月に稲刈り体験をさせていただいた。

【年長：体験、年中・年少：見学】

貴重な体験を通してお米ができるまでの過程を知る経験となった。

○お話広場

月2回、ボランティアの方が各クラスに絵本の読み聞かせをしてくださった。地域の方が絵本を読んでくださることで親しみを感じ、楽しみにする姿があった。

○さつまいもの栽培

ボランティアの方と一緒に苗を植えたり、掘ったり、さつまいもの茎の料理を見せてくださったりと地域の方が教師役となり指導してくださった。また、地域の方を含め民生委員や主任児童委員の方にも手伝っていただき、収穫した芋を使って調理をしたり、食育指導をしたりしてくださった。さらに、収穫した芋のつるを利用してリース作りをしてくださったり、おいも屋さんとして保育サポートをしてくださったりしたおかげで、今後の保育に活かすことができた。

○きりりんデー

園庭や畑の除草作業、花植え、園庭の机や椅子のペンキ塗り、木に名札を付ける、衣装作りのサポート、玩具作り等の活動を含め、年間を通して園庭や畑の除草作業をしてくださった。

- 実施に当たっての工夫

- ・実施に当たっては、地域学校協働活動推進員が中心となって園側や地域の方と連携を取り合い、活動の調整を行った。
- ・稲刈りでは、保護者ボランティアを募り、地域の方と連携を密にしたことで安全に実施することができた。
- ・園の玄関に関わってくださったボランティアの方の写真を掲示したことで、子ども達や職員も繰り返し名前や顔を認識することができた。

- 事業の成果

- ・毎年栽培しているさつまいもだが、今年度は地域の方に指導していただいたことで地域の方に親しみを持ち、職員だけでは指導できない貴重な体験活動も地域の方のおかげで行うことができた。

- 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・子ども達が様々な活動を通して地域の方とのふれあいができるように、ボランティアの人材確保や新たな人材の開拓を検討していく。

- その他（学校運営協議会との協働等）

- ・今後も推進員を中心に地域と園が連携をし、子ども達に豊かな経験ができるよう進めていきたい。



【 おいも屋さん 】

- 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他（ PTA、担任 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域に学び、地域とともに子どもを育てる

愛荘町	活動名：愛知川幼稚園地域学校協働本部	愛知川幼稚園	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：16人 <input type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []			

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・園経営の基本方針と目標・ビジョンの共有について
- ・3つの活動の柱「園環境の充実」・「体験活動の推進」・「保護者ボランティアの活性化」の具体的な取組について
- ・地域の特徴とそれを生かした保育内容、人材の発掘について

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

・壁面制作

保護者ボランティアが季節にあった玄関壁面を制作してくださっている。ボランティアが全て作るのではなく、子ども達の作品も壁面の一部として飾っているなど工夫したものとなっている。

・一人一鉢栽培

地域の方が土づくりから始め、種から丹精込めて育てられたマリーゴールドの苗を全園児分持ってきてくださり、子ども達に植え方を教えてくださっている。子ども達は自分の鉢に植えて、大切に育てている。

・砂場の掘り起こし、時計台と鉄棒のペンキ塗り

地域企業の協力を得て、固まった砂場の掘り起こしや時計台と鉄棒のペンキ塗りをしてくださった。砂場の掘り起こしでは、ふかふかの砂に大喜びの子ども達だった。

・タイヤのペンキ塗り

園関係者だけでなく地域住民の方々に協力をしてもらい園のタイヤにペンキを塗っていただいた。



【砂場の掘り起こし】



【タイヤのペンキ塗り】

■ 実施に当たっての工夫

- ・長く続けていくために “できる人ができる時にできることから” をモットーに無理なく活動を進めている。

■ 事業の成果

- ・今年度は地域の企業や地域にお住まいの方などたくさんの方々の力によって充実した活動ができた。
- ・保護者ボランティアが壁面制作に加えて、月1回保育用品制作、図書の整備等のボランティア活動をしてくださった。
- ・地域の方に来ていただくことで職員だけでは指導できない貴重な体験活動ができています。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・より地域に開かれた園を目標として、地域の方々の力を生かし充実した活動にしていきたい。
- ・今年度は運営委員や地域推進員を中心に地域の方に声をかけていただき、たくさんの方に来て園いただいた。今後はさらにボランティアの人材確保のために人の輪を広げていきたい。
- ・地域の特徴を生かし、子ども達が地域の良さや特色に気付けるような体験を取り入れていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・今後も地域推進員を中心に地域との連携・協働を深め、“地域で子ども達を育てる”という意識を高めていきたい。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

園長 副園長 地域連携担当教職員 その他（学級担任・PTA）

報告書記入者（地域連携推進担当職員）

みんなでつくる みんなの秦荘東小学校

愛荘町	活動名：秦荘東小学校地域学校協働本部	秦荘東小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：80人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []			

■ 事業を考案する主体

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・学校行事や環境整備について、ボランティアの積極的な募集について（校区内で回覧）
- ・めざす子どもの姿について協議、実践活動案の提案

■ 地域と学校が協働した活動

○学校支援活動

- ・学習支援【農業体験】稲の栽培（5年）…田植え、稲刈り、脱穀、やまいも栽培（4年）…植木鉢での栽培
農業ボランティア、JA、役場の協力を得て、学習を進めている。特にやまいもは愛荘町の特産でもあり、やまいも振興会の指導の下、郷土学習をかねて行った。

【福祉学習】アイマスク、盲導犬、認知症（3年）

社会福祉協議会、ボランティア団体の方による授業

【音楽科】6年（雅楽演奏）…蚊野「千鳥会」による演奏

【キャリア教育】高学年…地域の方による授業

- ・環境整備【運動場とその周辺の除草等】

【清掃活動】低学年のそうじの見守り支援、学期ごとのトイレの掃除

○図書ボランティア

- ・読書活動支援【読み聞かせ】 毎週火曜日 朝

○郷土学習

【社会科】3年（身近な地域の調査）金剛輪寺、歴史博物館、古墳公園の調査では、お寺の住職や学芸員からの案内と説明を受けた。

6年（第二次世界大戦）遺族会の方より戦中や戦後の生活について聞き取りを行う。



【 やまいも植えつけ（4年） 】



【 収穫祭（5年） 】

■ 実施に当たっての工夫（対応等）

実施にあたっては、地域学校協働活動推進委員、学校側(教頭・地域連携担当教員等)が連絡を取り合い、活動の調整にあたった。

■ 事業の成果

ボランティアの方の協力を得た活動を年間を通して実施することができた。子どもにとっては地域の人々と顔見知りになり、地域の中の一員とである意識が高まってきた。

稲作関係のお礼で収穫祭を実施した際、普段は1人暮らしなので、大勢での食事ができることに喜んでおられた。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

地域の方や各種団体、行政など幅広く支援をいただき、それぞれの活動を中心になって進めている。課題としては、地域学校協働本部の活動が学校の教員中心になっていることである。今後、地域の人材をさらに活用し、協働本部との連携を進めたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

地域住民の自らの経験や知識を学校の教育に生かし、生きがいを感じる場が設けられるように地域学校協働本部を中心に地域への発信とともに地域資源を生かした教育活動の計画を進めていきたい。

■協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ ）
 報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

愛荘町立秦荘西小学校 地域学校協働活動 「手と手(てっとうて)」

愛荘町	活動名： 秦荘西小学校地域学校協働本部	秦荘西小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：28人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

- 学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（民協OBつながり隊）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

幅広い地域住民の参画によって、地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えるという視点にたち、秦荘西小学校の特色を生かした事業の進め方について意見交換した。地域の方の参画を期待する教育活動の内容や支援の内容について共通理解した。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

・ぶどう復活プロジェクト

コロナ禍で中止になっていた本校伝統のぶどうの栽培を復活させたいとボランティアで集まった23名の児童と地域の方々がタッグを組んで取り組んだ。ぶどう園の草刈りや袋かけ、観察など年間を通して取り組みを続けた。ぶどうの栽培や管理は難しく、子どもの力では難しい作業もあるが、子どもたちの一生懸命な姿やぶどうの復活を願い、自主的に取り組んでいる様子が地域の方に伝わり、市域の方も積極的に管理に関わっていただいた。

第1回のぶどう園除草作業には、多くの地域の方にも来ていただき、子どもたちと一緒に作業してもらった。「子どもたちが、伝統のぶどうを復活させるために行動してくれたので、うれしいんや。私たちも手伝いたい。」と言っていただいた。その後も何度かの除草作業、ブドウの房の袋掛けなど地域の方と一緒に取り組んできた。また、消毒やジベ処理（種をなくすための薬品処理）など子どもたちには難しい作業を地域の方が引き受けてくださった。

地域でのぶどう栽培が20年以上たっている。ぶどうの木が老木になり、思い描くような、たわわな房にはならなかったが、自分たちが育てたぶどうを「甘い。」と笑顔を見せていた。全校の児童にも、給食の時間に食べてもらい、ぶどうを育てることの大変さや地域の方々の協力があってできたことを校内放送した。また、新聞社やテレビ放送でも取り上げてもらい、学校と地域が連携していることをアピールできた。このぶどう復活プロジェクトは、学校と地域とをつなぐ活動となっている。



【ぶどう園除草作業】

■ 実施に当たっての工夫

- ・地域コーディネーターから募集案内を出していただき、協力内容を具体的に挙げ、支援していただける活動を回答していただいた。依頼窓口は原則として地域コーディネーターにまとめ、ボランティア各位との連絡調整をしていただいた。

■ 事業の成果

- ・地域コーディネーターを中心として、地域や保護者との連携を密にすることで、子どもたちの体験的で主体的な活動を安全に実施することができた。
- ・様々なボランティアにたくさんの方が来校されその方々と親しげに話す様子やあいさつを交わす児童が増え、地域の方々とのつながりがもてた。



【ブドウの房の袋掛け】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・ボランティアの高齢化が進みつつあるので、新たな人材の開拓が必要。
- ・本校にあるブドウの栽培が地域と連携して続けられるように今後もボランティアの方を募る。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

秦荘西小学校ホームページアドレス https://www.town.aisho.shiga.jp/04_hatanisisyou

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

- 校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（該当学年教員）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

ふれ合い・分かち合い・つながり合い「愛がいっぱい愛知川小」の地域学校協働活動

愛荘町	活動名：愛知川小学校地域学校協働本部	愛知川小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：2人 ボランティア登録数：50人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 ■学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・本校ボランティア活動のPR方法について検討し、新聞への折り込みチラシによる配布の協力が得られることになった。
- ・ボランティア登録者が登録していても声がかかりにくいことから、ボランティアルームを開設することによりボランティアの輪を広げ、学校と地域の懸け橋となる場としていくよう検討した。
- ・「美しい学校づくり」の一環として園芸活動に力を入れ、新たに園芸ボランティアを募ることについて検討した。



【 あい愛ルームでの交流 】

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・10月ボランティアルーム開設
 「あい愛ルーム」と名付け、ボランティアで来られた方々が使える場として、また子どもたちがボランティアの方々と交流する場として設けた。毎週水曜日の中休み、昼休みにあい愛ルームを開放し、子どもたちがボランティアの方と交流を深めている。また、毎週水曜日にはこの部屋で推進員との打合せを行っている。
- ・あい愛ルームでの読書祭り
 ボランティアルームへたくさん子どもたちに足を運んでもらえるよう、10月に読書祭りを開催。10/23（月）～10/27（金）の昼休み、読み聞かせや紙芝居、パネルシアターを行い、たくさん子どもたちがあい愛ルームに足を運び、慣れ親しむことができた。
- ・家庭科教え隊
 5、6年生の手縫いやミシンの指導について、今年度においても全ての授業で常に数名のボランティアの方が補助をして下さったおかげで子どもたちへ行き届いた指導を行うことができた。
- ・花いっぱい咲かせ隊・おいしい野菜を育て隊
 前庭の花壇を中心に、ボランティアの方に園芸活動の協力を依頼し、例年以上にたくさんのお花を咲かせることができた。また、2年生の野菜作りにボランティアの方が教えに来て下さり、立派な夏野菜、冬野菜を育てることができた。
- ・トイレ掃除お助け隊
 月一回4～5名のボランティアの方に補助的なトイレ清掃のご協力を頂いている。少しずつ参加協力の人数が増えてきている。



【 花いっぱい咲かせ隊による園芸活動 】

■ 事業の成果

- ・ボランティアルーム「あい愛ルーム」を開設したことが大きな成果であった。今後は、来校されるボランティアの方と学校との敷居が低くなり、学校に足を運びやすくなることが期待できる。また、これからこの部屋の様々な活用方法を検討していき、子どもたちと地域の方々のつながりをさらに深めていきたい。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・今後、更に子どもたちがボランティアの方々の活動について理解を深め、今度は子どもたちが学校から地域に奉仕できる活動を推し進めていきたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

- ・学校運営協議会の開催日程を学校行事や参観日に合わせ、子どもたちの学習や活動の様子を参観し意見交流を行っている。

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（教務主任）

報告書記入者（地域連携担当教職員）

学校の教育活動を支え、子どもたちを育てる 「えちひが応援団」

愛荘町	活動名：愛知川東小学校地域学校協働本部	愛知川東小学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：30人 ■学習支援（授業補助、学力補充等） ■図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） □地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに■印）

学校・園
 学校運営協議会
 地域学校協働活動推進員等
 行政
 その他（後援会「東輝会」）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

○学校支援ボランティア活動の充実について

学校の教育活動を支え、子どもたちを育てる応援団として、どのような形で取組を進め、地域の力を生かしていくのか協議した。学校のニーズと地域のボランティアのマッチングを図り、取組を拡充していく必要があることを確認した。また、ボランティア活動の初期段階では、補助や支援を中心に取組を進め、活動が軌道に乗った段階で、子どもと一緒に活動したり、交流をしたりする機会を増やしていく。そして、子どもの力を伸ばす地域の先生「えちひが応援団」として、継続的かつ発展的な取組とすることを共通理解した。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

○「えちひが全校たんぼのこ」

コロナ禍が明け、学校と地域のボランティアが協働し、全校児童による「えちひが全校たんぼのこ」を復活させることができた。5月には全校で田植え、9月には全校で稲刈りを多数のボランティアの方の協力のもと実施した。また、6年の総合的な学習の時間に、ゲストティーチャーとして地域の方を招き、米作りを中心とした農業の仕事や働くことの意義などを学ぶことができた。さらに、12月には、特別支援学級と5・6年を対象にもちつき大会を実施した。

地域学校協働活動推進員を中心に、多くの地域の方の協力をいただいて「えちひが全校たんぼのこ」を従来よりもパワーアップして復活させることができた。



【 えちひが全校田植え 】

■ 実施に当たっての工夫

- ・活動の内容や規模により、ボランティアを募る対象を調整した。
- ・単発の活動で終わらないように、継続的な計画を立てた。

■ 事業の成果

コロナ禍で縮小されていたが、今年度は全校で取り組むことができ、全校児童の一体感が生まれ、意義深い取組となった。また、田植えや稲刈りでは、きょうだい学年で活動したため、コロナ禍で十分に取組めなかった異学年交流ができ、下学年を思いやる上学年の好ましい姿が見られた。

また、年間を通して取組を進め、ボランティアの方に協力をいただいたため、子どもたちとボランティアの方のつながりが生まれたため、今後の発展に期待したい。



【 6年キャリア教育 先輩に学ぶ 】

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

学校とボランティアの方で段取りをし、子どもに活動の機会や場のみを与えることが多かった。今後は、子どもとボランティアの方が協力する取組や、ボランティアの方から子どもたちが学ぶ取組などを増やしていきたい。

■協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに■印）

校長
 教頭
 地域連携担当教職員
 その他（ ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

地域は学校の応援団・学校は地域の応援団 ～地域と学校の協働を通して～

愛荘町	活動名： 秦荘中学校地域学校協働本部	秦荘中学校 学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに <input checked="" type="checkbox"/> 印 開始年度：令和3年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：12人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援（授業補助、学力補充等） <input checked="" type="checkbox"/> 図書ボランティア（読書活動支援・図書室環境整備） <input type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成（地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育） <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他 []		

■ 事業を考案する主体（該当するすべてに印）

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他（ ）

■ 学校運営協議会で熟議された内容（地域学校協働活動に関わる内容等）

- ・地域学校協働活動の協力者の募集をどのように地域に知らせ定着した人材バンクを広げるにはどうすればいいか。
- ・大学生をはじめとする若いボランティア人材を活用したいが、交通費の限界が有り常時、依頼ができない。
- ・学校が必要としているボランティア内容と人材確保の情報に隔たりがあるが今後も連携をしていく必要がある。

■ 地域と学校が協働した活動（特徴的な活動）

- ・2年生職場体験学習における事業所への依頼と受け入れ。
- ・社会を明るくする運動に生徒会も参加。
- ・学力補充へのボランティア（学生ボランティアを含む）の取組。
- ・家庭科実習へのボランティア協力の取組。
- ・学校周辺環境整備への協力の取組。
- ・体育館ステージの幕の修繕ボランティアの予定。
- ・福祉教育活動（キャラバンメイト/手話体験）のボランティア協力の取組。



【家庭科実習の地域ボランティア】

■ 実施に当たっての工夫

（できるだけ多くの地域人材の参画等）

- ・中学校へは抵抗感があるため気軽にボランティアできる雰囲気作りに努めた。
- ・校区に限らず広く多方面の方々が中学校と交流・連携できる内容を探ってきた。
- ・生徒と年齢的に近い学生ボランティアと気軽にふれ合い学力向上を図ってきた。



【学習補充の地域・学生ボランティア】

■ 事業の成果

- ・教科の学習内容に関わるボランティアが今まで少なかったが、今年度は少しでも実施できた。
- ・各学年の要望に応えるべく地域のボランティア人材の確保に方向性が見えてきたことに意義があった。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・地域ボランティアの方が、中学校の支援協力へのハードルがまだまだ高いため、中学校が求めている人材の具体的な内容を地域に発信していくことが必要である。小学校であれば何とか支援できるが中学校の活動と言うだけで支援に参画できるのか不安も考えられる。特に、数学・英語の学習内容については協力への抵抗が見られ、誰でもお願いできるとは限らない。そのためボランティア探しが難しく登録者が極端に少ない現状である。
- ・地域の中で活動を重ねる中で、地域のよさに触れ、地域からも協力できる内容に理解を深め、少しずつ学習内容まで参画を通じて、生徒に自信を持たせ愛荘町に愛着と誇りを感じさせたい。
- ・今年度、家庭科の実習でボランティア協力があり、いろんな教科等で広げていけるきっかけづくりにつなげたい。

■ その他（学校運営協議会との協働等）

秦荘西小学校ホームページアドレス https://www.town.aisho.shiga.jp>04_hatanisisyou

■ 協働活動推進員（コーディネーター）と協働する学校関係者（該当するすべてに印）

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他（ 該当学年教員 ）

報告書記入者（ 地域連携担当教職員 ）

知を愛し 人権を尊び 連帯に生きる愛知中生・学校運営協議会(CS)の取組

愛荘町	活動名 : 愛知中学校地域学校協働本部	愛知中学校	学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
<p>地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：令和3年度(学校運営協議会設置) 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：49人 <input checked="" type="checkbox"/>学習支援(授業補助、学力補充等) <input checked="" type="checkbox"/>図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/>学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/>子どもの安全確保、見守り <input checked="" type="checkbox"/>部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/>学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/>学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/>地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/>地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/>ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/>郷土学習 <input type="checkbox"/>その他 []</p>			

■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

学校・園 学校運営協議会 地域学校協働活動推進員等 行政 その他()

■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- 令和3年度より、本校に学校運営協議会(コミュニティ・スクール)が設立された。初年度より熟議を重ね、「学力を支える」と「学校美化を推進する」ことに取り組むことにした。そして、子ども達の中学校生活の向上のため、①学習部会・②環境部会・③お助け部会の3つの活動部会を設置した。それぞれの活動部会には、学校運営協議会委員が2名ずつ所属し、この委員2名を核として地域からのボランティアがそれぞれの部会で活動している。
- 令和4年度後期から令和5年度前期までの各部会の活動は以下の通りである。
 学習部会……学級文庫「E-Book」の設置と運営、日本語指導教室へのボランティア
 環境部会……花プランターの設置と管理、学校美化活動、トイレ清掃ボランティア
 お助け部会……キャリア教育授業のため地域の事業所からの講師招聘および授業支援



【 地域行事へのボランティア参加 】

■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

(1) 地域行事への生徒ボランティア

8月5日(土)に、山川原地域総合センター「交流夏まつり大会」の子ども行事に、学校で募った生徒がボランティアとして参加し、活動の支援を行った。「魚つかみ大会」では、幼児から小学生までの部門の準備や運営、後始末を行った。参加児童や園児に優しく接したり、責任感ある言動がとれていたことなどから、周囲の方々から感謝やお褒めの言葉をいただき、参加生徒の励みにもなった。

(2) 学校授業支援

学校教育活動の支援として、コミュニティ・スクールの「お助け部会」が核となり、地域から講師をボランティアとして招聘し、1年生のキャリア教育の授業を支援した。授業中のパネルディスカッションでは、発表者(2名)や司会者も地域人材で行い、生徒には大変印象深い授業となった。学校施設の収容人数の都合や感染症対策もあり、学年を2分割して実施したことから、同じ授業を2回行った。



【 1年キャリア教育の授業支援 】

■ 事業の成果

- 学校運営協議会(コミュニティ・スクール)は、校長(学校)の構想(願い)をできる限り実現しようと一丸となって活動していただいている。活動分野も多岐にわたっており、学校にとって大変心強いサポーターとなっている。同時に、地域の学校として、地域に支えられている存在である意識も、生徒や職員に培われてきている。今後もさらに推進していきたい。
- 昨今の教育課題は、学校の中や学校の指導機能をフルに活用しても、解決しきれないものが増えてきている。その解決の糸口として、学校運営協議会とPTAが連携して活動することで、地域と家庭が連携した子育てができる環境が整う可能性を見いだすことができた。今後の活動で研究していきたい。

■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- 学校運営協議会委員や地域コーディネーター、学校ボランティア人材の確保
 - 学校運営協議会の事業の継続や引き継ぎが円滑にいくよう、学校運営協議会委員や地域コーディネーターの人材を確保したい。
- 活動予算の確保
 - 活動によっては予算が必要なものもあり、持続可能な活動とするためにも、ある程度の予算を確保したい。

■ その他(学校運営協議会との協働等)

- 学校運営協議会の会議を平日の勤務時間内に設定することにより、教職員の働き方改革を支援していただいている。

■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

校長 教頭 地域連携担当教職員 その他(主幹教諭)

報告書記入者(地域連携担当教職員)